

Trotec speedy300 使い方

Ver.00-00

Kotarou Ishibori
2024/01/24



内容

注意事項(はじめに)	2
(1) まず、加工する材料が加工できない材料ではないか確認してください。	2
(2) 加工中は絶対に目を離さないでください。	3
(3) レンズやミラーには触れないでください.....	3
0. データファイルの準備	4
(1) 作業フロー	4
(2) 2D データを用意します。	5
(3) 出力可能サイズか確認します。	5
1. レーザー加工機の準備	6
2. データの加工準備.....	10
(1) RUBY の起動.....	10
(2) ファイルのインポート	10
(3) インポートしたファイルを開く	11
3. レーザーの出力パラメータの調整	12
4. レーザー加工の開始.....	13
(1) 保護パネルを閉める.....	13

注意事項(はじめに)

(1) まず、加工する材料が加工できない材料ではないか確認してください。

加工できない材料

ポリ塩化ビニル樹脂，エポキシ系樹脂，カーボンファイバー，ガラエポ ポリスチレン，ポリエチレンなどのプラ樹脂 薄手のガラス，前項以外の貝殻，前項以外の金属 その他，加工できる物以外
--

加工できない材料は絶対に加工しないでください

加工したい材料が加工できるかは

「加工したい材料名」 + 「レーザー加工」

で検索してください。



注意

加工できない素材を加工した場合以下のような危険性が伴います



毒ガス注意

人体に影響を及ぼす毒ガスが発生します。



腐食注意

腐食性の高いガスが発生し、機器にダメージを与えます。



発火注意

発火し、火災に発展する可能性があります。

(2) 加工中は絶対に目を離さないでください。

安全のため、加工中は必ず運転状況を監視し、発火による火事に十分注意してください。

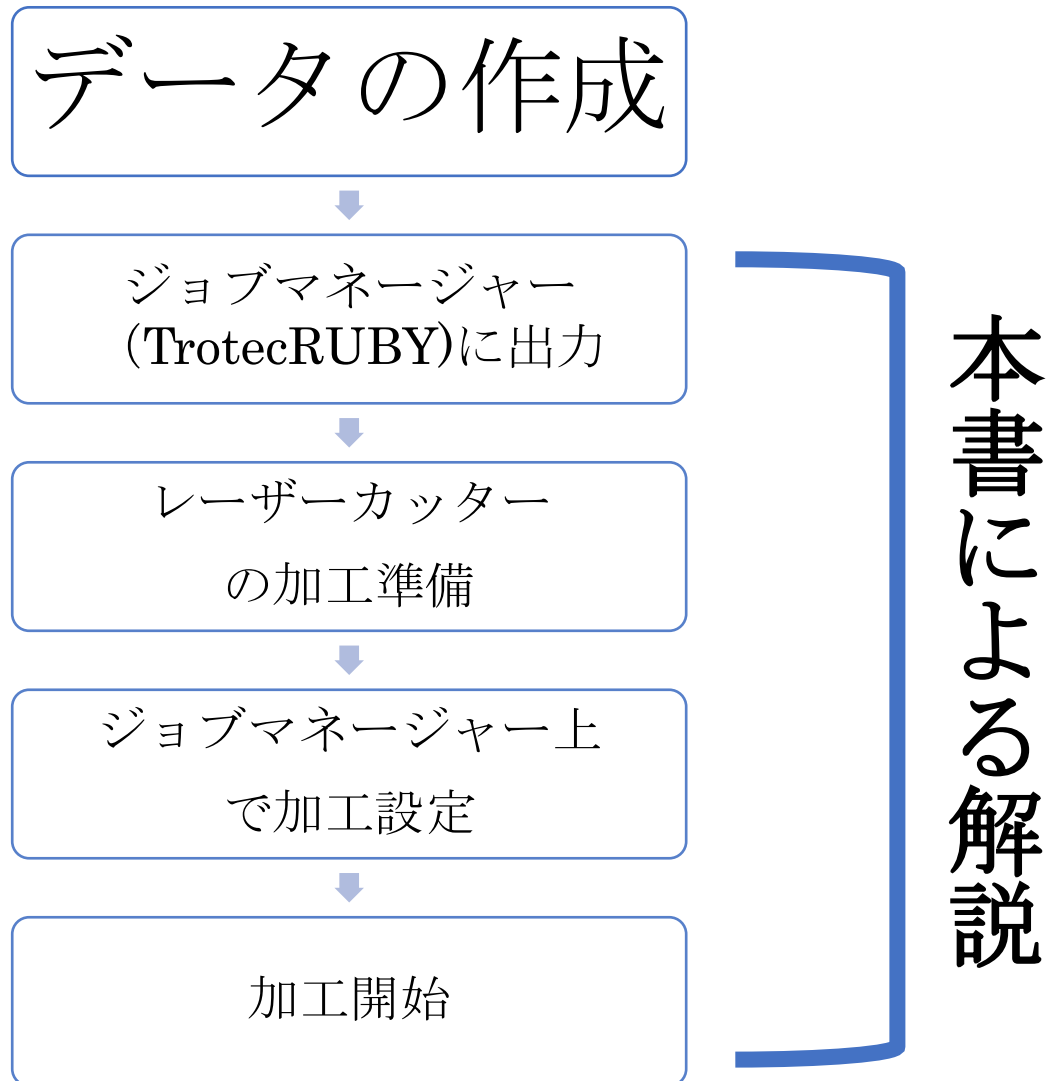
(3) レンズやミラーには触れないでください

レンズに傷や汚れがつかないように注意してください。

0. データファイルの準備

(1) 作業フロー

以下に作業フローを示す。なお本書においてはデータの作成についての解説は行わない。



(2) 2D データを用意します。

対応しているファイルは以下の表の通りです。

ファイル形式
Adobe Illustrator (.ai)
Adobe PDF (.pdf)
SVG (.svg)
Windows BMP (.bmp)
JPEG (.jpg / .jpeg)

(3) 出力可能サイズか確認します。

最大サイズは、795mm x 440mm です。

1. レーザー加工機の準備

(1) レーザー加工機を起動します。

受付に trotec を使用したい旨をのべ鍵を受け取ります

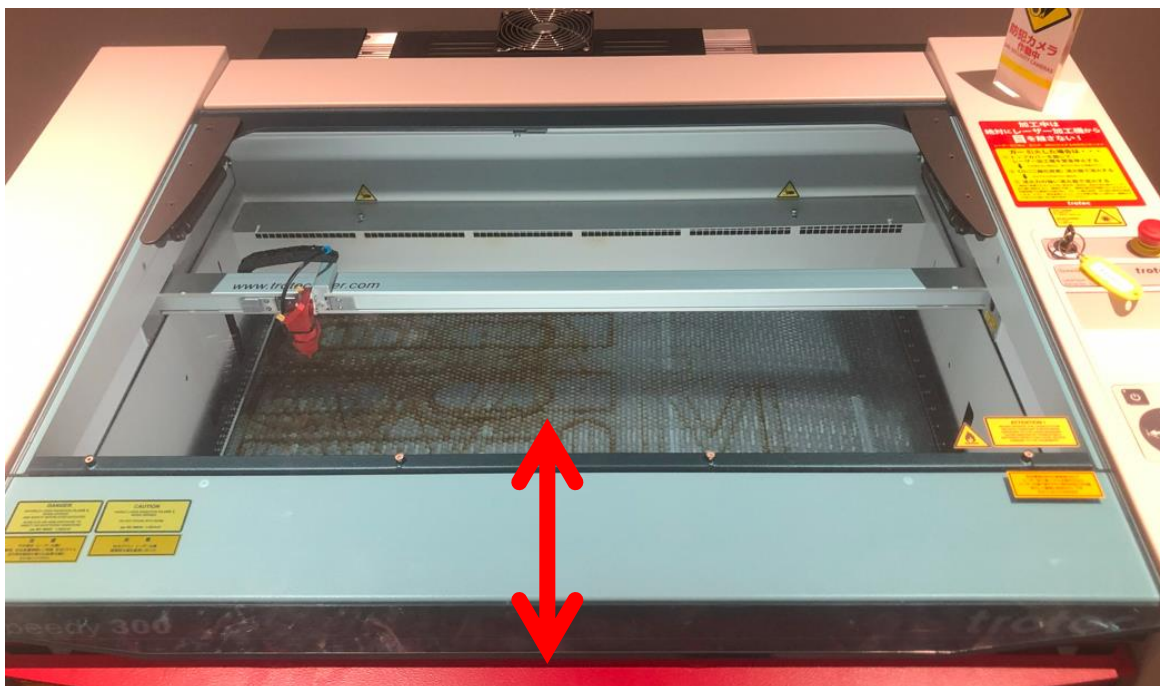


Trotec 本体のコントロールパネル部に鍵をさし起動マークまでひねり電源を入れます。
本体から「ピー」と音がするまで放置します。

※この時カバーは閉じた状態で行ってください

(2) 材料をハニカムテーブルに置きます

本体のカバーを開けハニカムテーブルに材料を置きます。



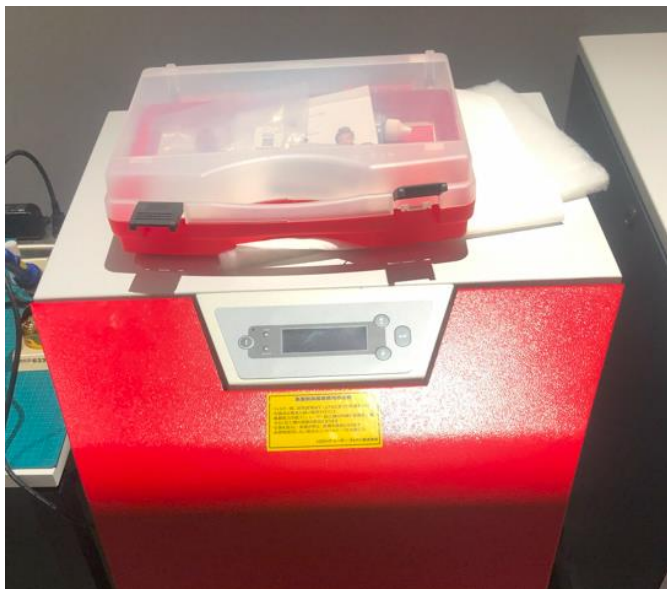
※この時強く置いてしまうとハニカムテーブルがへこんでしまうので気を付けてください。

(3) レーザーヘッドを材料の上に移動します

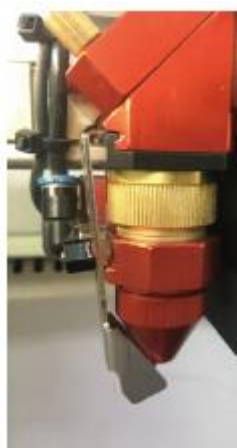


コントロールパネルの矢印を使ってレーザーヘッドを材料の上に移動させます

(4) フォーカスを合わせます



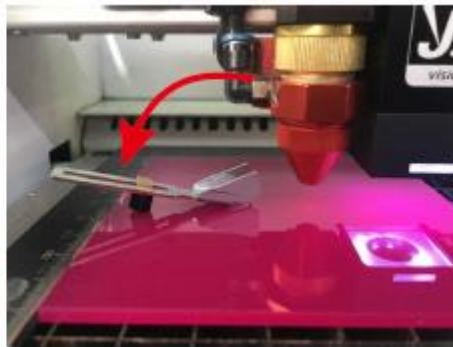
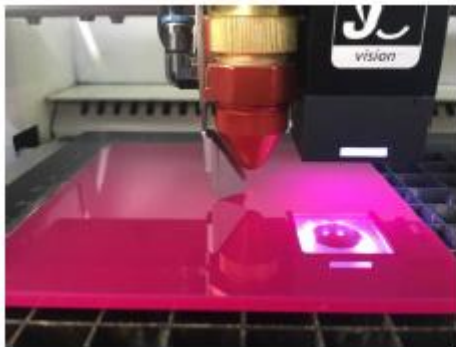
本体横のフィルターの上にあるツールボックスからフォーカスツールを取り出します。



レーザーヘッド脇に引っ掛けぶら下げます。



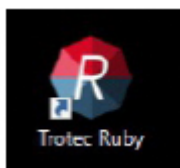
コントロールパネルの上下ボタンを押しハニカムテーブルを上昇させます。



フォーカスツールが材料に当たってぐらつくもしくは倒れた直後で止めてください。

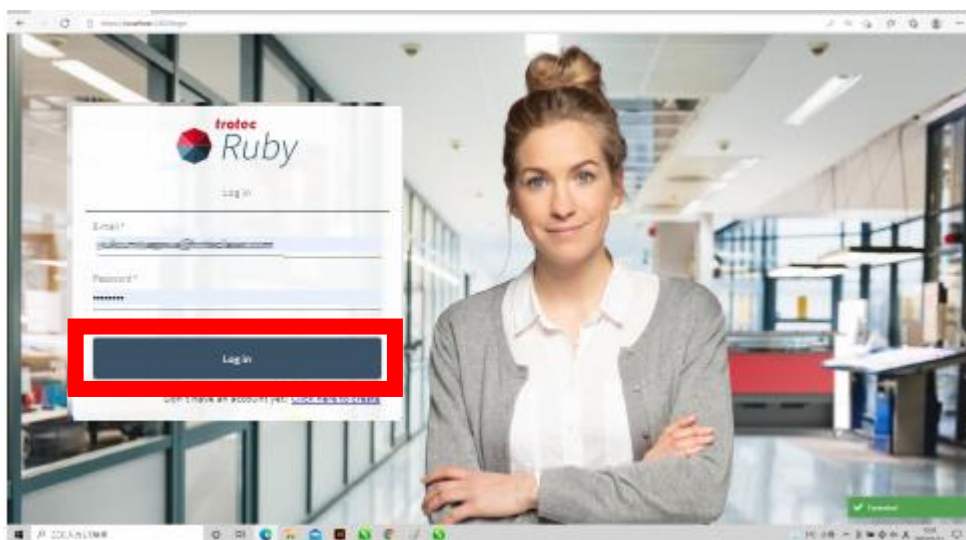
2. データの加工準備

(1) RUBY の起動



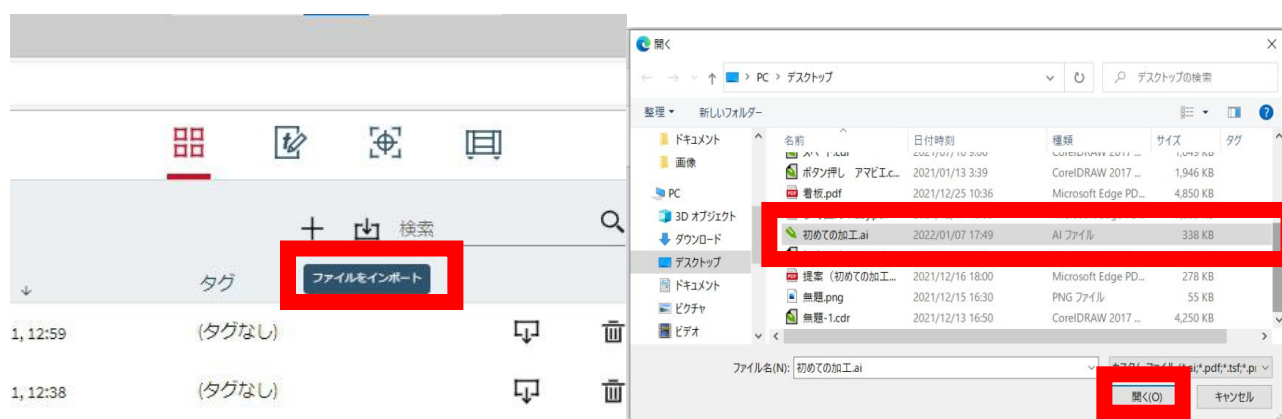
デスクトップにある TrotecRUBY をダブルクリックして起動します。

※以下のような画面が出るときは Log in をクリックしてください。

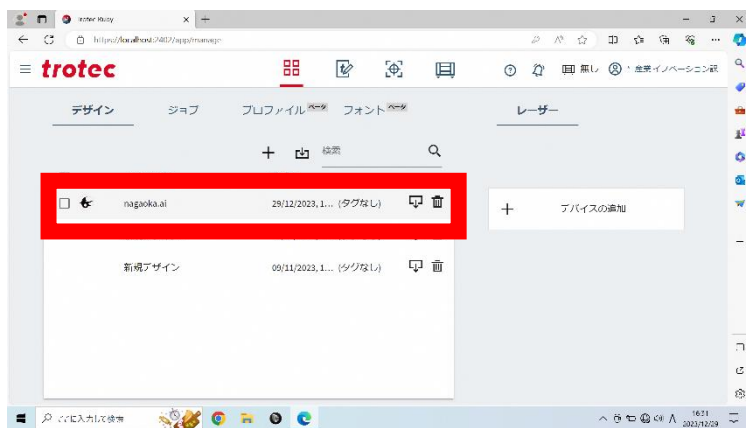


(2) ファイルのインポート

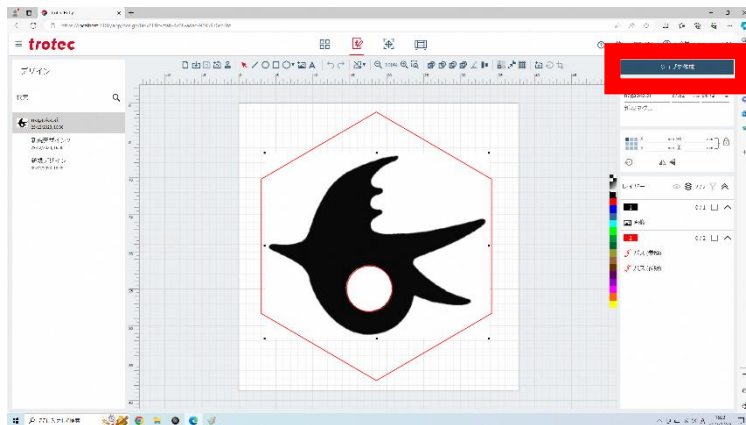
ファイルをインポートをクリックして作成したいファイルを選択して開くをクリックします。



(3) インポートしたファイルを開く



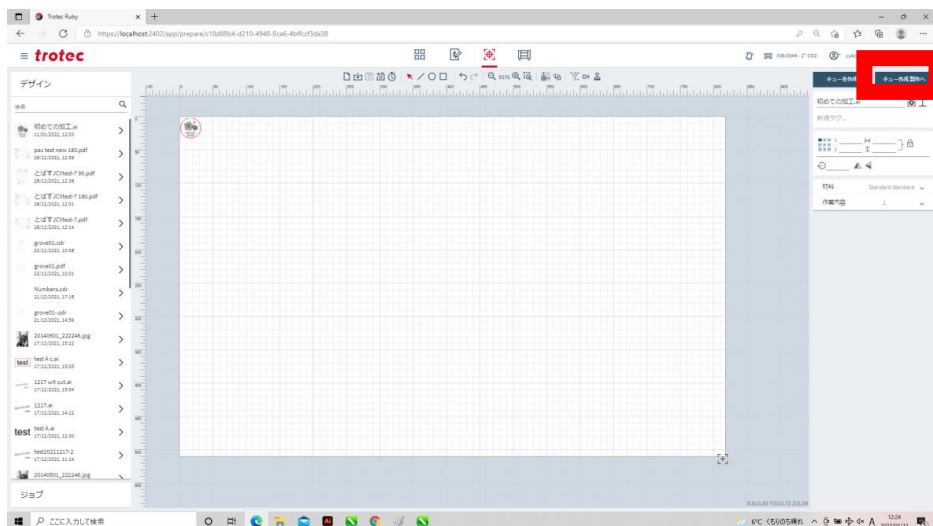
インポートしたファイルが一番上にあるのでクリックします。



インポートしたファイルが正しいか確認します。

エラー等ない場合右上のジョブを作成をクリックします。

※基本的に赤色で作成した線は切断、それ以外の色は彫刻になります。



加工データがプレート上に配置されたことを確認します。

※自動的に左上に配置されます。位置はファイルをドラッグアンドドロップすることで可能です。

3. レーザーの出力パラメータの調整

加工する材料に合わせてレーザーの強さ、加工速度を設定します。代表的な材料のパラメータはデフォルトで収録されているので、加工したい材料、厚さの最適な物を選んでください。

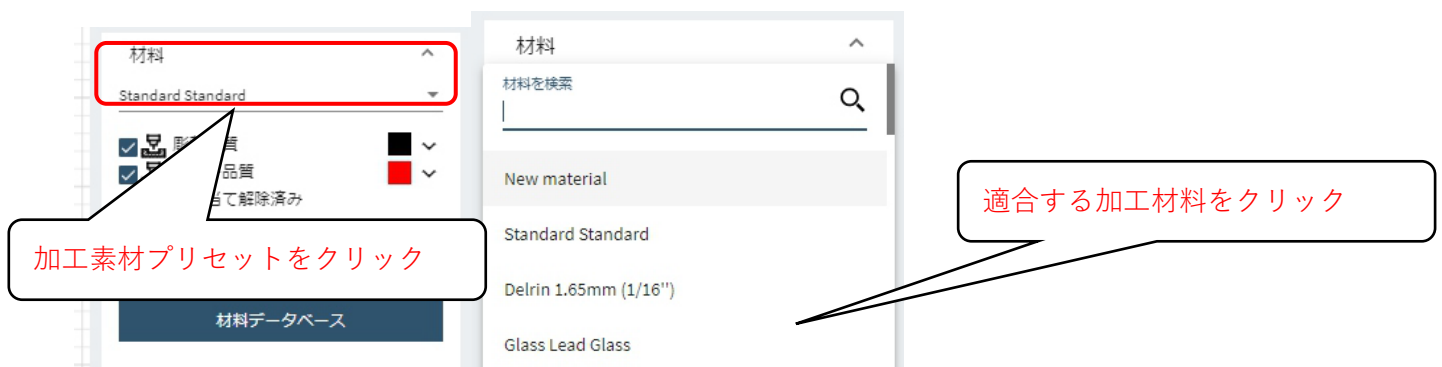
※あらかじめ収録されている設定では切断できない可能性があります。

一度あらかじめ収録されている設定で切断できるのか、端の部分でテストカットをすることをお勧めします。

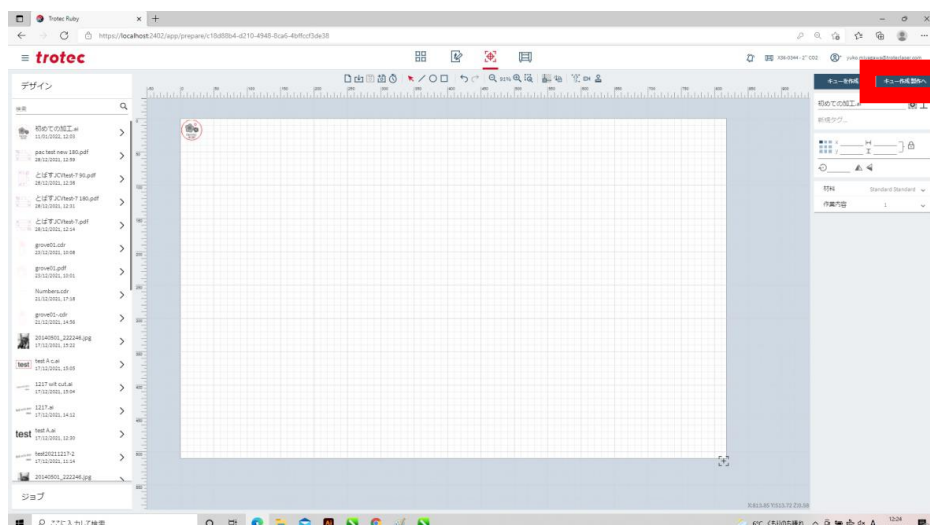
他の使用者が作成したパラメータが多数存在します。

自分に合ったパラメータをその中から選択しても構いません

パラメータの変更については、管理者にお問い合わせください。



自身の加工したい材料に合わせて材料名を選択します。

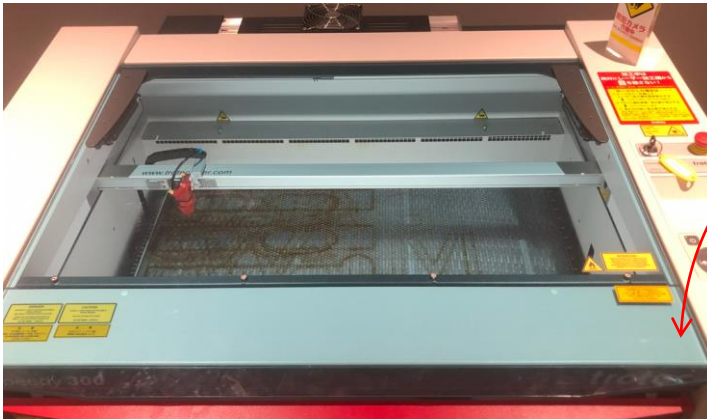


材料の選択ができたなら右上のキュー作成 制作をクリックします

4. レーザー加工の開始

(1) 保護パネルを閉める

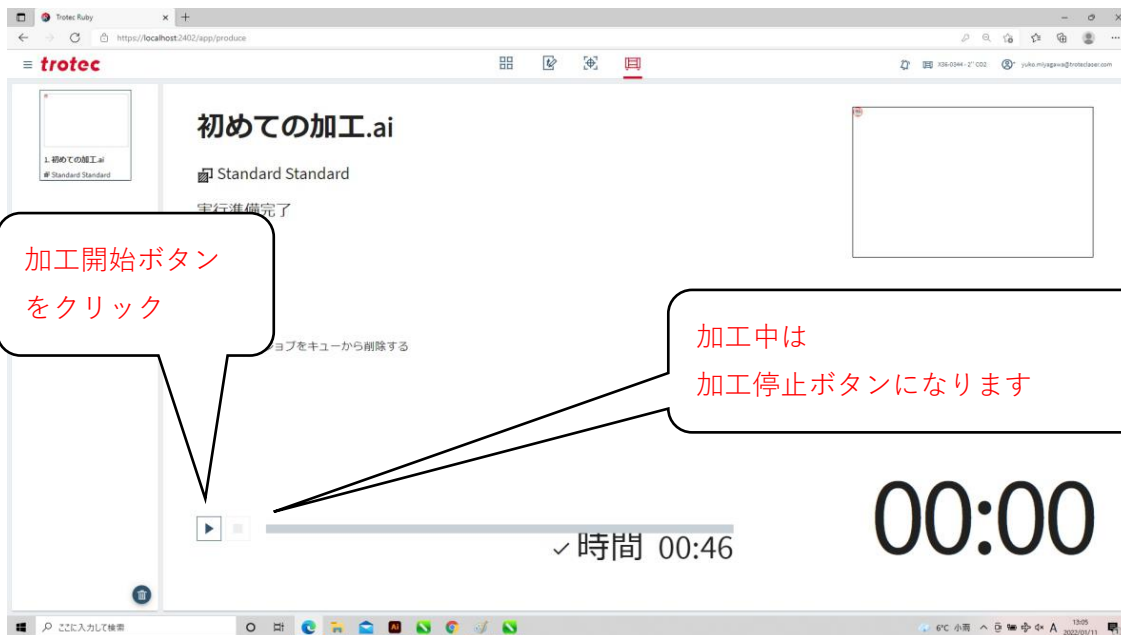
本体の保護パネルが閉まっていることを確認します。



保護パネル を閉めます

加工を開始

1. 加工開始ボタンを押します



加工終了後取り出すさいに加工面が鋭利な場合があるため注意